



# ききょう便り

平成25年 新年号(第32号)



ききょうデイサービスセンター 小正月のお飾り

## 人を思いやる心

評議員 倉品喜久枝



明けましておめでとうございます。  
謹んで新年のお慶びを申し上げます。

早いもので、元民生委員と言う立場で、ききょうの里の評議員になり、もう十年以上経ちました。農家の主婦で書くなどと言うことからすっかり離れていたで、大変だったことを思い出します。

そんな私ですが数多くの先輩や友人に支えられて、今日までやって来ました。皆様には本当に感謝しています。

今私は、趣味で「デリカビーズ」の織物をしています。縦糸横糸、その間に入るビーズ、糸の引き方で絵が歪んでしまったり、また、糸の通し方でビーズが落ちてしまいます。落ちたビーズを拾い直すのは大変です。

福祉の世界でも同じだと思います。この仕事に関わる皆様の日々の努力や、細やかな心遣いには頭が下がります。

私自身にも出来る感謝の気持ち、人を思いやる心を持ちたいと思います。スーパーなどのレジを担当している方には「お願いします」「ありがとう」と言うことを心掛けています。自分も気持ちの良いものです。

益々高齢化も進み、福祉を取り巻く環境が厳しくなっているなか、難しいことはわからない私ですが、関心を持って行かなくてはと思います。

今年は、政権も新しくなりました。まだまだ進んでいない東日本大震災の復興と、福祉の益々の充実を祈り、その現場でご苦労して下さっている皆様にとって少しでも良い年になりますようお願いしています。

## 社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里  
ききょうの里短期入所生活介護事業所  
ききょうデイサービスセンター  
ききょうの里居宅介護支援事業所  
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷  
ききょうヘルパーステーション

〒 378-0002

群馬県沼田市横塚町 957 番地 2

TEL 0278 - 23 - 8831

FAX 0278 - 23 - 8832

〒 378-0061

群馬県沼田市岡谷町 687 番地

TEL 0278 - 23 - 8861

FAX 0278 - 23 - 8852

発行責任者 諏訪 光生

# ききょうデイ岡谷って通常のデイとどう違うの？

## 地域密着型認知症対応型デイサービスについてご紹介します

### ききょうデイ岡谷

12名（小規模）

認知症の方※1

家庭的な温かさ

定員

対象者

特徴

### 通常デイサービス

30～40名

要介護認定者

設備・機能の充実

ききょうデイサービスセンター岡谷では、小規模で家庭的な雰囲気の中、認知症ケアの経験を積んだスタッフによる、失敗させないケアにより、認知症の方でも自尊心を損なうことなく、安心して楽しく利用できるよう心掛けています。その温かさは、まさに、陽だまりのような温かさです。

（全室コタツ仕様！広い縁側は日当たり良好！）

※1 要介護認定者で認知症生活自立度Ⅱ以上の方

地域密着型サービスとは、平成18年度の介護保険法改正により、新たに創設された介護保険サービスの体系で、主に中重度の要介護者の方を対象に、住み慣れた地域で、地域の特性に応じて多様な柔軟なサービス提供が可能となるよう設けられたものです。



ペットボトルのボーリング大会！時には廊下がボーリングのレーンに早変わりします。



気のあった仲間と名人戦！



今日の手作りおやつは草餅の大福。あんこも自家製です。とてもおいしいんです。



おいしい鍋を囲んで忘年会！ 広い縁側とコタツでゆったりと過ごせます。



### 若年性認知症ケア・モデル事業、実施中

ききょうデイサービスセンター岡谷では、群馬県より選定され、現在2名の方を対象にモデル事業を実施しております。

その内容は、陶芸や料理、お菓子作りなど、対象者の希望や得意なことを行うことにより、生き甲斐を高めようとするものです。

**群馬県若年性認知症ケア・モデル事業とは**  
若年性認知症の人やその家族の支援に資する適切なサービスの研究・開発を行ない、県内の事業所に普及させることなどを目的にした事業。昨年の十月より一年間、県内三箇所を実施しています。

# フォトアルバム(行事紹介)

## 作品展



日頃の取り組みで作成した手芸や陶芸、貼り絵など、一年間の成果を作品展で披露しました。ご来場いただきありがとうございました。



## 季節の行事



元日はおとそで乾杯し、赤飯やなます、黒豆、数の子が入った祝膳で新年をお祝いしました。



デイ岡谷は近隣の事業所といっしょにビバタウンの特設会場で、合同作品展を行いました。

## 贈り物



沼田東中学校様から、たくさんのさつまいもをいただきました。ありがとうございました。



クリスマス・誕生会は、職員手作りの人形を使った人形劇「おむすびころりん」を披露しました。

年末に、岳遊の皆様がそば打ちの慰問にお越し下さり、打ちたての美味しいおそばをご馳走になりました。



## みなさん、最近笑っていますか？

笑いには心身ともにさまざまな効果があることが医学的にも注目されています。笑うと身体が活性化され免疫力がアップし、横隔膜を鍛える事ができるので、肺の強化にもつながるそうです。同じ笑いでも無理して笑う作り笑いはどうなるのか気になりますよね。



先日、ヘルパー研修でも学びましたが、実は作り笑いでも同じように身体が活性化され、ナチュラルキラー細胞（ガンの殺し屋として有名）の働きが活発になるそうです。朝起きて鏡の前で『ニコッ』。誰かに挨拶する時も『ニコッ』。日頃から小さな幸運にも大きく喜び『ラッキー』と口角を上げて言う。いつも笑顔でいる人の周りには人が集まり、明るい雰囲気を作り出します。その人が楽しそうに話す雰囲気が思わず周りを笑顔にさせるのです。笑顔は伝染するそうですよ。

毎日はずらつとした笑顔でいきいきと過ごすことによって、いつも若々しく、病気に無縁で長生きしたいものです。年を重ねるごとに笑顔に磨きをかけ、自分自身が光り輝く存在になりたいです。

(ヘルパーステーション  
介護職員 芝宮)

近年、高齢者施設などで認知症高齢者が増加しており、これに対する適切な対応が求められています。

厚生労働省は昨年6月に今後の認知症施策の方向性についてとりまとめています。ききょうの里でも、認知症の対応に力をいれており、知識の向上のため積極的に研修に参加し、学んできたことを活かすために事例検討を定期的に行っております。

認知症高齢者がとっている行動には意味があり、その行動理由を探り、今の援助が利用者様が本当に望んでいる事なのかを考えて行くことが重要だと思っています。その為には、日々の行動の観察(記録)がとても大事になってきます。観察はどのような状況(環境)の中、職員がどのように対応したのか？その時にどのような反応があったのか？職員が話した言葉、利用者様から聞かれた言葉やその時の表情など細かなところまで観察します。それらの情報を集め行動理由を探り、その利用者様の身体状況や性格、生活歴、既往歴等様々な情報と照らし合わせて、ケアの方向を考えています。

認知症高齢者は2015年度には300万人に達するというデータも出ています。これからも様々なケースに直面する機会が増えてくると思いますが、安心して楽しい生活を送って頂けるよう援助をしてきたいと思っています。



(ききょうの里 介護職員 藤井)

## 職員紹介

\*\*この職に就いて\*\*

ききょうの里に入職し、3年目になります。

入職した頃は、業務を覚えることで頭がいっぱいで、仕事に追われた日々を過ごしていました。以前はグループホームに勤務していたので、介護の経験はありましたが、特養は未経験で、利用者様の名前すら覚えられず、自信喪失し、介護職に就いたことを後悔しはじめていました。

そんな時に、施設長から「小野さんは笑顔を忘れてるよ」「もっと笑って」と声を掛けられ、はっと我に返り鏡を見てみると、眉間に皺を寄せ、無愛想な顔をしている自分がいました。介護に携わる上で一番大切な笑顔をすっかり忘れていたのです。

笑顔は喜びや安らぎを与えてくれます。どんな難しい知識や高い技術を持っていても、笑顔を絶やさずには良い介護は出来ないと思い「明るい笑顔をつくろう」「楽しく仕事をしよう」と心がけているうちに、いつしか肩の力が抜け余裕ができるようになりました。今では、楽しくやりがいを感じながら毎日を過ごしています。

利用者様の心の声を見逃さず細かい見守りや気付きを持ち、必要な援助を見極めながら、安心できる環境作りと心地よい寄り添った介護を目指して、笑顔を絶やさず、一步一步、歩みながら精進していきたいと思います。



介護職員  
小野登志枝



### ケアマネの初夢

海の底から、プファァッと海面に浮き上がって、やっとやっと息継ぎができた時のような、ドス暗い思い出が脇腹に不意打ちをくらわせたり、あるいは悪夢の汗が襟元を濡らすとき

それはなんとも言いようもない胸苦しさと、あるいはもう何もしたくない、話したくない、感情すらも動かしてもらいたくないそれはなんとも不甲斐のない、主のいない観客もいない操り人形みたく自分の人生なのに、自分の思い出なのに、自分の見る夢なのに自分の思うようにならない、そんな寄り添えない思い…。

「通帳を盗ったのはお前だろう!？」

「第一あたしのいない隙に部屋に入って何してるんだい？」

「この家も、土地も、財産も、お前だけには渡しゃあしないから！」

って、面と向かってお義母さんに言われました。

「アンタねえホントだよ、うちの嫁は外面はいいけど、刺身の良いところは自分たちだけで食べて、あたしにはイカだとか固くて食べられないもんしかくれないんだ」

「それどころかアンタ、食べさせてくれないときだってあるんだよ。おやげねえ話さ」

って、私がそれ、そのまに嫁なのに延々と話しているんですから。気持ち悪くなって顔を背けて涙と苦酸っぱい胃液を飲み込みました。

今では時々作り笑顔ができるようにもなりましたが、それでも疲れが深々と降り積もってくるのです。疲れていること自体が分からなくなっちゃったような気がします。

何が哀しいかって、気がついたらお義母さんに「何でそんな嘘つくの！」

って、このわたくしが怒鳴っておりました。

心の中で「早くくたばれ！ もういいよ！ もう終わりにしよ!!」

って言っている自分も見てしまいました。

今の私、ホントの自分じゃない！ こんな嘘！ こんなのアタシじゃない!!



ご本人と介護者とご家族全員の幸せを目指して、ケアマネを始めとして介護チームがお手伝いします。肩の荷をみんなで担ぎましょう。(介護支援専門員 大平)



### ☆☆今後の予定☆☆

#### ☆ききょうデイサービスセンター

2月 三色焼きパーティー(5~7日)

かくし芸大会(12~14日)

3月 ひな祭り誕生会(上旬)

思い出アルバム贈呈(下旬)

4月 お花見(下旬)

#### ☆ききょうの里(従来型・ユニット型)

2月 節分(3日)

3月 ひな祭り(上旬)

4月 お花見(中旬)

開所記念行事(下旬)

#### ☆ききょうデイサービスセンター岡谷

2月 節分豆まき(上旬) 紙粘土細工(下旬)

3月 ひな祭り(上旬)

手作りおやつ・桜餅(下旬)

4月 お花見(中旬)



#### ◇◇編集後記◇◇

二十四節気の小寒に入り、寒い毎日が続いています。

今年も一年「利用者様の幸せ」という法人の理念・目的に向かって職員一同頑張って参りますので、よろしくお願いたします。

感染症が心配される時季になり、ききょうの里では感染症を持ち込まないように「うがい・手洗い」を徹底しています。

面会の際はマスクの着用等、ご協力をお願いいたします。

(総務 中山)

